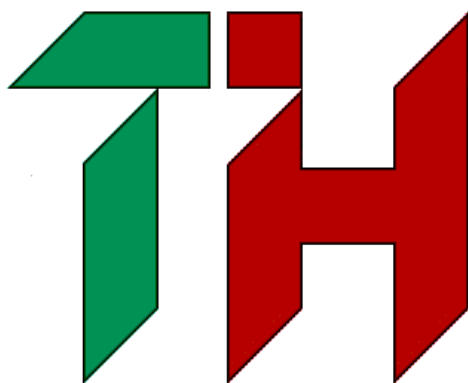


令和元年度  
情報公開資料



学校法人伊東学園

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

## 1】学校の概要、目標及び計画

### ●学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色

#### 建学の精神

若い人たちの夢や希望の実現を手伝うこと

そのために多くの挑戦や失敗を恐れずに経験させ、そこから何らかを学び取ることで感性を磨き、ひいては自信と誇りを持って豊かな社会づくりに貢献できる人材を養成する

#### 教育方針

- ・園芸業界の即戦力、その道のプロフェッショナルとして力を発揮できる人材を養成する
- ・栽培から流通・販売まで、また造園やデザインなども含めてバランスの取れた専門教育を行う
- ・理論の学習だけでなく、実習を通して技術の習熟を図る
- ・多方面に関連する園芸業界の状況に対応できるように、関連分野の教育も行う
- ・発展し変化する園芸業界の現状をふまえて、柔軟に対応できる人材を養成する
- ・社会人にふさわしいマナーや人間性を養成する
- ・若い人の持つ夢や目標を大切にし、その可能性を引き出して育てる教育を行う
- ・就職を共に考え、卒業後は同窓会組織などを通じて応援する

### ●校長名、所在地、連絡先等

法人名 学校法人伊東学園

校長 伊東政信

所在地 東京都千代田区神田小川町 3-26-1 (〒 101-0052)

連絡先 電話 03-3292-0954 Fax 03-32922349

メール [tokyo-th@ito.ac.jp](mailto:tokyo-th@ito.ac.jp)

ホームページ [www.ito.ac.jp](http://www.ito.ac.jp)

## 事業年譜

1952	昭和27	学校の前身である神田予備校創立(東京都知事認可・各種学校)
1974	49	学校法人の認可を受け学校法人伊東学園を創立
1988	63	テクノ・ホルティ園芸専門学校開校(埼玉県知事認可・専修学校)
1994	平成6	東京テクノ・ホルティ園芸専門学校の前身である園芸教育センターを開設
1998	10	東京テクノ・ホルティ園芸専門学校を開校 (東京都知事認可・専修学校、昼間部、2年制(学年定員40名)、1年制(同40名))
1999	11	文部省委託事業(『職業人再就職推進事業』)を受託 「ガーデン園芸基本マニュアル」を作成・出版
2000	12	文部科学省委託事業(『チャイルドスクール』)を受託(平成14年度まで) 都内小中高校教員対象『ガーデニング講習会』を実施(東京都教職員文化会委託、2年間)
2002	14	農業系高等学校教員を対象としたフラワーデザイン講習を実施 「新産業技術等指導者養成講習会」(全国農業高等学校長協会委託) 都内小中高校教員対象『ガーデニング講習会』を再度実施(東京都教職員文化会委託)
2003	15	鳥取県立倉吉農業高等学校教員の内地留学を受入れ 鳥取県教育委員会からの要請により6か月、フラワーデザインの指導方法などを教授
2005	17	文部科学省委託事業(『専修学校を活用した若者の自立・挑戦支援事業』)を受託 「離職者・無業者に対するフラワー業界への就職支援と人材紹介プログラムの開発」
2006	18	月刊『フローリスト』における「フローリストのためのディスプレイ改良計画」を監修(2年間)
2007	19	文部科学省委託事業(『専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業』)を受託 「女性の再チャレンジ支援プログラム」
2008	20	農林水産省『省内花いっぱい運動』に協力し、正門ほかにフラワー装飾を行う(4年間)
2015	27	企業のスーパーバイザー及び店長を対象とした社員教育を実施(都内企業からの依頼) テーマ「生花店における技術・接客の重要性」
2017	29	都内百貨店のイベントにおいて親子で参加する園芸作品づくりを実施(約40組が参加)

## 学科、コースの変遷

1998	平成10	東京テクノ・ホルティ園芸専門学校を開校 (東京都知事認可・専修学校、昼間部、2年制(学年定員40名)、1年制(同40名)) フラワービジネス学科2年制課程、1年制課程 フラワーデザインコース、経営コース
2001	13	2年制課程、1年制課程共に園芸教室指導員コース、園芸福祉コースを追加
2003	15	2年制課程、1年制課程 園芸教室指導員コースをグリーンアドバイザーコースと名称変更 2年制課程 経営コースをフラワービジネスコースと名称変更 1年制課程 経営コースの設置を取りやめ
2006	18	2年制課程 園芸福祉コースの設置を取りやめ 1年制課程 園芸福祉コースを園芸療法・福祉コースと名称変更 同課程にショップビジネスコースを新設
2007	19	2年制課程 フラワーデザインコースをフラワーデザインコース、ブライダルフラワーコースに改組 同課程 フラワービジネスコースをショップビジネスコースと名称変更 1年制課程 園芸療法・福祉コースの設置を取りやめ
2009	21	2年制課程、1年制課程 ショップビジネスコースの教育内容をフラワーデザインコースに再編
2011	23	2年制課程、1年制課程 グリーンアドバイザーコースをグリーンデザインコースと名称変更
2013	25	1年制課程の2コースをデュアルコース、フラワーデザインコースと改組
2014	26	1年制課程の募集を停止
2019	31	2年制課程 フラワーデザインコース、グリーンデザインコースを合併しフラワーデザインコースと改組

## 2】各学科（コース）等の教育

- 入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数

次に例示する素養を持った人物を、募集要項に基づいて募集している。

（この際、出願前に来校するなどして、本校に対する理解を深めることを求めている）

- ・花や緑の持つ素晴らしさを楽しむことができる人
- ・花と緑の素晴らしさを人々に知らせることを望む人
- ・花と緑を使って人に安らぎや癒しを与えることを望む人 など

商業実務専門課程 フラワービジネス学科 2年制課程 募集定員 40名 収容定員 80名

コース	令和元年度		平成 30 年度			平成 29 年度		
	入学	在籍	入学	在籍	退学	入学	在籍	退学
フラワーデザインコース	26	37	9	30	0	21	38	1
ブライダルフラワーコース	18	35	21	40	1	21	29	1
グリーンデザインコース		8	11	14	3	3	7	0
計	44	80	41	84	4	45	74	2

在籍者数は各年度 5 月 1 日時点

退学者数は、学年を問わず年度を通じて退学した人数

令和元年度入学生よりフラワーデザインコースとグリーンデザインコースを統合し 2 コース体制に変更

- カリキュラム

教育目標（育て上げようとする人物像）

- ・企業から喜んで迎え入れてもらえる人材
- ・花と緑を通じて人に豊かな気持ちや安らぎ、心地よい環境を提供できる即戦力たる人材
- ・働くことに夢と誇り、やりがいを感じることでできる人材
- ・常に向上心と自らの目標に関する事柄に興味・関心を持ち、創意工夫と努力を怠らない人材
- ・将来のオーナーやデザイナー、第一線で活躍を目指そうとする人材

授業科目等の概要

(商業実務専門課程フラワービジネス学科フラワーデザインコース) 令和元年度 1年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザイン	装飾デザイン実技を効果的に習得するためのデザイン力の基礎を学ぶ。	1	15	0.5	△	○		○			○	
					2	30	1	△	○		○			○	
○			ビジネスマナー	社会人としてのマナーや履歴書の書き方、さらに保険や年金の仕組みについて学ぶ。	1	30	1	○	△		○			○	
					2	45	1.5	○	△		○			○	
○			時事教養	新聞や雑誌などの記事をもとに、新しい時代感覚と柔軟なものを見方を身につける。	1	30	1	○	△		○			○	
○			園芸流通	花き産業の生産・流通・市場や卸売・価格決定などについて学ぶ。	1	30	1	○			○	△		○	
○			グリーンデザイン	園芸作業の基礎知識の学習と寄せ植えなどの制作技術の基本を实践。指導できるレベルを目指す。	1	60	2	△	○		○			○	
○			植物の基礎知識	植物の分類や生理生態など基本的な知識を学習する。	1	45	1.5	○			○			○	
○			花と緑の商品知識	主要な花と緑について、その性質・品種・管理方法など基本的な知識を身につける。	1	90	3	○			○			○	
					2	45	1.5	○			○			○	
○			フラワーデザイン	切り花の仕組みや取り扱い方、基本のデザインから大型装飾作成までの知識と技術を身につける。	1	225	7.5	△	○		○	△	○		
					2	240	8	△	○	△	○	△	△	○	○
○			グリーンコーディネート	観葉植物の知識や管理方法、グリーンの合わせ方や演出方法を学ぶ。	1	30	1	○	△		○			○	
○			ガーデニング	環境に適した草花や資材の選択、植栽デザインについて学ぶ。	1	30	1	○	△		○	△		○	○
○			カラーコーディネート	色彩の基礎知識を習得し、花材の色合わせなどに応用できる力を身につける。	1	30	1	○	△		○			○	○
○			フラワービジネス	接客技術やマナー、販売促進につながる基本的技術を学ぶ。また、見学や体験談をもとに店舗運営のノウハウやポイントを学び、それを実習店舗で実践する。	1	90	3	○	△	△	○	○	○		
					2	90	3	○	△	△	○		○	△	○
○			花の文化	人は古くから花や緑とどのような関わりをもち植物を利用していかを、様々な視点から考え、学ぶ。	1	30	1	○			○			○	
○			園芸実習	道具の使い方・土づくり・花壇作成などの知識と技術を習得する。	2	120	4	△	○		○	△		○	
○			ビジネス能力検定3級	現代の職業社会が必要とするビジネス能力の基礎を身に付ける	1	30	1	○			○			○	
○			卒業制作	卒業制作展示会に向けて作品がスムーズに制作できるように準備する。	2	30	1	△			○			○	
○			インターンシップ	フラワーショップや結婚式場・園芸店などで実体験をし、花と緑の業界について理解を深める。	1	120	4				○			○	○
					2	120	4				○			○	○
一般 選択 6講座 (225時間)															
		○	英会話	基本的な日常会話に生花店・園芸店で必要になる特殊な単語(植物名など)も交え、英語でのコミュニケーション力のレベルアップを目標に楽しく授業を展開。	1	30		○			○			○	
	○		園芸装飾	観賞用植物の基本的な維持管理の方法及び、植物を用いた装飾に必要な技術や知識を習得する。	1	30		○	△		○	△		○	
		○	園芸福祉	園芸福祉の基礎概念を知り、園芸課として福祉を理解し植物の効果的な活用方法を実習を通して学ぶ。	2	30		○	△		○			○	
		○	ショップ会計の基礎知識	店舗運営に必要な販売事務や計数管理の基礎を知ること、経営者のみでなくスタッフにも必要である。簿記の基本を理解するとともに年末調整の方法なども学ぶ。	2	60		○			○			○	
		○	ガーデンデザイン	プレゼンテーションでは、空間のイメージを的確に伝えることが大切である。ガーデニングに必要な図面の描き方など実践的な技術を学び、それを応用したパースの制作を行う。	2	45		△	○		○			○	
		○	国内特別研修	植物をテーマにしたテーマパーク「ハウステンボス」で植栽などの研修及び長崎市内観光(グラバー邸、大浦天主堂など)。	2	30		△	○		○		○	○	

特別講義 13講座 (162時間)

○	植物写真の撮影技術	植物を観察し理解する際、写真は大いに役立つ。その植物写真の撮影テクニックを実践的に学ぶ。	1	12		○	△		○			○
○	ポタニカルアートⅠ	植物を被写体として描画する絵画法として発展してきたポタニカルアートの歴史と描画方法を学ぶ。	1・2	12		△	○		○			○
○	ポタニカルアートⅡ	ポタニカルアートⅠで用いた植物とは異なる対象を描き、習得した技術をさらに磨く。完成した作品は額装する。	1・2	12		△	○		○			○
○	いけばなの基本 (小原流)	花の姿のとらえ方、間の取り方、枝葉の作り方と整理の仕方など、活け始める前の段階から構築の方法と考え方、華道の奥深さを講義と実習を通して学ぶ。	1	32		△	○		○			○
○	ハーブの利用	ハーブ農園に見学に行き、実際のハーブを目にしながらその種類や特性、効能を学んだり、自らで摘み取ったハーブを料理に使ったり石鹸を作ったりし、様々なハーブの利用方法を体験する。	2	16		△	○		○			○
○	四季の寄せ植え	各季節の寄せ植えに向けた植物を用い、センスの良い作品の作り方のポイントや管理方法を学ぶ。	2	16		△	○		○			○
○	盆栽・山野草の楽しみ方	日本独自の文化である盆栽の歴史や、最近人気が高まりつつある山野草を使った寄せ植えや小品盆栽等の植物や器の選び方、合わせ方を学び、実際に作品を制作する。	2	16		○	△		○			○
○	植物染色	植物素材を利用した染色を行う。見た目は同じような枝でも植物によって様々な発色がある。各自で染色、模様づけして絹のスカーフを完成させる。	1・2	8		△	○		○			○
○	生花祭壇の制作現場	近年、生花を扱う仕事の一つとして需要が伸びている葬儀の仕事。そのメインである生花祭壇の制作現場を見学してその過程を学び、葬儀の仕事について理解を深める。	1・2	4		○			○			○
○	ブライダル装花とテーブルマナー	結婚式場へ行き、プロの先生の指導のもとにテーブルマナーを学ぶ。テーブルマナーを知っておくことは装飾する際にとっても重要であり、社会人として必要なマナーの一つである。	1・2	4			○		○			○
○	庭園・植物園見学	花の文化やガーデニングで学んだ知識をもとに、新宿御苑や小石川植物園など都内近郊の庭園や植物園を見学し、植物や植栽、庭園様式について学ぶ	1・2	12			○		○	○		
○	イベント見学	日本フラワー&ガーデンショーやJFTDジャパンカップなど花と緑に関わるイベントを見学し、園芸・花業界のトレンドを学ぶ。	1・2	12			○		○	○		
○	メイクアップレッスン	就職活動に際し面接は第一印象が大事である。好感をもたれるメイクアップのノウハウをプロの美容部員から教わる。	2	4			○		○			○

資格取得特別講座 6講座 (232時間)

○	フラワー装飾 技能士3級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。花束、アレンジメント、コサージュの制作技術を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	1	32		△	○		○			○
○	フラワー装飾 技能士2級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。花束、アレンジメント、ブーケの制作技術を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	2	40		△	○		○			○
○	園芸装飾 技能士3級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。観賞用植物による室内装飾とその維持管理の技能を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	2	32		△	○		○			○
○	日本フラワーデザイナー協会資格 3級・2級・1級	「芸術・文化の普及」という観点からフラワーデザインを学ぶ人々に、その学習過程における目標を段階的に設けているフラワーデザイナーの資格の取得を目指す。	1・2	32			○		○			○
○	リテールマーケティング 3級	消費者のニーズに応えた高度な商品知識、管理能力や接客技術などをレベルに応じて検定する資格。合格を目指した指導を行う。	1	60		○	△		○			○
○	カラーコーディネーター 3級	人間の生活に大きく作用し、影響する色彩を操り、管理する能力が身に付く資格。合格を目指した指導を行う。	1・2	36		○	△		○			○

合計

42

科目

2224単位時間( 単位)

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件	必修科目1605時間+選択科目300時間=1905時間以上履修すること	1 学年の学期区分	—
選択科目の履修方法	一般選択科目、特別講義、資格取得特別講座より、2年間で300時間以上選択する。		
<p>※特別講義は時間数の総計が15時間以上とする。何講座でも受講は可能であるが、取得時数は15時間ごとに認定する（例：15, 30, 45, 60…）。また、2年次での重複受講は認めない。</p> <p>※資格取得特別講座の単位認定方法</p> <p>①授業を2/3以上出席し上記資格を取得した場合、1資格1.5単位(45時間分)として認定する。</p> <p>②授業を2/3以上出席したが上記資格を取得できなかった場合、1資格0.5単位(15時間分)として認定する。</p> <p>③出席時数が2/3に満たなくて上記資格を取得した場合、1資格0.5単位(15時間分)として認定する。</p> <p>④出席時数が2/3に満たなくて上記資格を取得できなかった場合、単位の認定はない。</p> <p>⑤入学前に上記資格を持っているものは、1資格1単位(30時間分)認定する。</p> <p>※上記以外の資格で、次にあげる資格を取得した場合、1資格1単位(30時間分)として認定する。</p> <p>&lt;グリーンアドバイザー・グリーンマスター・小原流本科・POP広告クリエイター・カットフラワーアドバイザー・色彩検定・漢字能力検定・文章読解・作成能力検定&gt;</p>		1 学期の授業期間 (1年間)	42 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程フラワービジネス学科 <b>ブライダルフラワーコース</b> ) 令和元年度 1年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必修	選択 必修	自由 選択						講 義	演 習	実験・ 実習・ 実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			デザイン	装飾デザイン実技を効果的に習得するためのデザイン力の基礎を学ぶ。	1	15	0.5	△	○		○			○	
					2	30	1	△	○		○			○	
○			ビジネスマナー	社会人としてのマナーや履歴書の書き方、さらに保険や年金の仕組みについて学ぶ。	1	30	1	○	△		○			○	
					2	45	1.5	○	△		○			○	
○			時事教養	新聞や雑誌などの記事をもとに、新しい時代感覚と柔軟なものを見方を身につける。	1	30	1	○	△		○			○	
○			園芸流通	花き産業の生産・流通・市場や卸売・価格決定などについて学ぶ。	1	30	1	○			○	△		○	
○			グリーンデザイン	園芸作業の基礎知識の学習と寄せ植えなどの制作技術の基本を実践。指導できるレベルを目指す。	1	60	2	△	○		○			○	
○			植物の基礎知識	植物の分類や生理生態など基本的な知識を学習する。	1	45	1.5	○			○			○	
○			花と緑の商品知識	主要な花と緑について、その性質・品種・管理方法など基本的な知識を身につける。	1	90	3	○			○			○	
					2	45	1.5	○			○			○	
○			フラワーデザイン	切り花の仕組みや取り扱い方、基本のデザインから大型装飾作成までの知識と技術を身につける。	1	225	7.5	△	○		○	△	○		
					2	180	6	△	○	△	○	△	△	○	○
○			グリーンコーディネート	観葉植物の知識や管理方法、グリーンの合わせ方や演出方法を学ぶ。	1	30	1	○	△		○			○	
○			ガーデニング	環境に適した草花や資材の選択、植栽デザインについて学ぶ。	1	30	1	○	△		○	△		○	○
○			カラーコーディネート	色彩の基礎知識を習得し、花材の色合わせなどに活用できる力を身につける。	1	30	1	○	△		○			○	○
○			フラワービジネス	接客技術やマナー、販売促進につながる基本的技術を学ぶ。また、見学や体験談をもとに店舗運営のノウハウやポイントを学び、それを実習店舗で実践する。	1	60	2	○	△		○	○	○		
					2	30	1	○	△	△	○		○	△	○
○			花の文化	人は古くから花や緑とどのような関わりをもち植物を利用していったかを、様々な視点から考え、学ぶ。	1	30	1	○			○			○	
○			ブライダルの基礎知識	ブライダルやフェーネラルに関わるマナーなど花以外の周辺知識や技術を身に付ける	1	75	2.5	○	△		○	△	○	△	
○			ブライダルフラワー	ブライダルの様々な場面で使われる花の扱い方や装飾方法について学ぶ	2	195	6.5		○		○	△		○	
○			ビジネス能力検定3級	現代の職業社会が必要とするビジネス能力の基礎を身に付ける	1	30	1	○			○			○	
○			卒業制作	卒業制作展示会に向けて作品がスムーズに制作できるように準備する。	2	30	1	△			○	○		○	
○			インターンシップ	フラワーショップや結婚式場・園芸店などで実体験をし、花と緑の業界について理解を深める。	1	120	4				○		○	○	○
					2	120	4				○		○	○	○
一般 選択 6講座 (225時間)															
		○	英会話	基本的な日常会話に生花店・園芸店で必要になる特殊な単語(植物名など)も交え、英語でのコミュニケーション力のレベルアップを目標に楽しく授業を展開。	1	30		○			○			○	
	○		園芸装飾	観賞用植物の基本的な維持管理の方法及び、植物を用いた装飾に必要な技術や知識を習得する。	1	30		○	△		○	△		○	
		○	園芸福祉	園芸福祉の基礎概念を知り、園芸課として福祉を理解し植物の効果的な活用方法を実習を通して学ぶ。	2	30		○	△		○			○	
		○	ショップ会計の基礎知識	店舗運営に必要な販売事務や計数管理の基礎を知ること、経営者のみでなくスタッフにも必要である。簿記の基本を理解するとともに年末調整の方法なども学ぶ。	2	60		○			○			○	
		○	ガーデンデザイン	プレゼンテーションでは、空間のイメージを的確に伝えることが大切である。ガーデニングに必要な図面の描き方など実践的な技術を学び、それを応用したパースの制作を行う。	2	45		△	○		○			○	
		○	国内特別研修	植物をテーマにしたテーマパーク「ハウステンボス」で植栽などの研修及び長崎市内観光(グラバー邸、大浦天主堂など)。	2	30		△	○		○	○			



特別講義 13講座 (162時間)

○	植物写真の撮影技術	植物を観察し理解する際、写真は大いに役立つ。その植物写真の撮影テクニックを実践的に学ぶ。	1	12		○	△		○			○
○	ポタニカルアートⅠ	植物を被写体として描画する絵画法として発展してきたポタニカルアートの歴史と描画方法を学ぶ。	1・2	12		△	○		○			○
○	ポタニカルアートⅡ	ポタニカルアートⅠで用いた植物とは異なる対象を描き、習得した技術をさらに磨く。完成した作品は額装する。	1・2	12		△	○		○			○
○	いけばなの基本 (小原流)	花の姿のとらえ方、間の取り方、枝葉の作り方と整理の仕方など、活け始める前の段階から構築の方法と考え方、華道の奥深さを講義と実習を通して学ぶ。	1	32		△	○		○			○
○	ハーブの利用	ハーブ農園に見学に行き、実際のハーブを目にしながらその種類や特性、効能を学んだり、自らで摘み取ったハーブを料理に使ったり石鹸を作ったりし、様々なハーブの利用方法を体験する。	2	16		△	○		○			○
○	四季の寄せ植え	各季節の寄せ植えに向けた植物を用い、センスの良い作品の作り方のポイントや管理方法を学ぶ。	2	16		△	○		○			○
○	盆栽・山野草の楽しみ方	日本独自の文化である盆栽の歴史や、最近人気が高まりつつある山野草を使った寄せ植えや小品盆栽等の植物や器の選び方、合わせ方を学び、実際に作品を制作する。	2	16		○	△		○			○
○	植物染色	植物素材を利用した染色を行う。見た目は同じような枝でも植物によって様々な発色がある。各自で染色、模様づけして絹のスクarfを完成させる。	1・2	8		△	○		○			○
○	生花祭壇の制作現場	近年、生花を扱う仕事の一つとして需要が伸びている葬儀の仕事。そのメインである生花祭壇の制作現場を見学してその過程を学び、葬儀の仕事について理解を深める。	1・2	4		○			○			○
○	ブライダル装花とテーブルマナー	結婚式場へ行き、プロの先生の指導のもとにテーブルマナーを学ぶ。テーブルマナーを知っておくことは装飾する際にとっても重要であり、社会人として必要なマナーの一つである。	1・2	4			○		○			○
○	庭園・植物園見学	花の文化やガーデニングで学んだ知識をもとに、新宿御苑や小石川植物園など都内近郊の庭園や植物園を見学し、植物や植栽、庭園様式について学ぶ	1・2	12			○		○	○		
○	イベント見学	日本フラワー&ガーデンショーやJFTDジャパンカップなど花と緑に関わるイベントを見学し、園芸・花業界のトレンドを学ぶ。	1・2	12			○		○	○		
○	メイクアップレッスン	就職活動に際し面接は第一印象が大事である。好感をもたれるメイクアップのノウハウをプロの美容部員から教わる。	2	4			○		○			○

資格取得特別講座 6講座 (232時間)

○	フラワー装飾 技能士3級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。花束、アレンジメント、コサージュの制作技術を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	1	32		△	○		○			○
○	フラワー装飾 技能士2級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。花束、アレンジメント、ブーケの制作技術を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	2	40		△	○		○			○
○	園芸装飾 技能士3級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。観賞用植物による室内装飾とその維持管理の技能を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	2	32		△	○		○			○
○	日本フラワーデザイナー協会資格 3級・2級・1級	「芸術・文化の普及」という観点からフラワーデザインを学ぶ人々に、その学習過程における目標を段階的に設けているフラワーデザイナーの資格の取得を目指す。	1・2	32			○		○			○
○	リテールマーケティング 3級	消費者のニーズに応えた高度な商品知識、管理能力や接客技術などをレベルに応じて検定する資格。合格を目指した指導を行う。	1	60		○	△		○			○
○	カラーコーディネーター 3級	人間の生活に大きく作用し、影響する色彩を操り、管理する能力が身に付く資格。合格を目指した指導を行う。	1・2	36		○	△		○			○

合計

43

科目

2224単位時間( 単位)

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<p>卒業要件 必修科目1605時間+選択科目300時間=1905時間以上履修すること</p> <p>選択科目の履修方法 一般選択科目、特別講義、資格取得特別講座より、2年間で300時間以上選択する。</p> <p>※特別講義は時間数の総計が15時間以上とする。何講座でも受講は可能であるが、取得時数は15時間ごとに認定する（例：15, 30, 45, 60…）。また、2年次での重複受講は認めない。</p> <p>※資格取得特別講座の単位認定方法 ①授業を2/3以上出席し上記資格を取得した場合、1資格1.5単位(45時間分)として認定する。 ②授業を2/3以上出席したが上記資格を取得できなかった場合、1資格0.5単位(15時間分)として認定する。 ③出席時数が2/3に満たなくて上記資格を取得した場合、1資格0.5単位(15時間分)として認定する。 ④出席時数が2/3に満たなくて上記資格を取得できなかった場合、単位の認定はない。 ⑤入学前に上記資格を持っているものは、1資格1単位(30時間分)認定する。</p> <p>※上記以外の資格で、次あげる資格を取得した場合、1資格1単位(30時間分)として認定する。 &lt;グリーンアドバイザー・グリーンマスター・小原流本科・POP広告クリエイター・カットフラワーアドバイザー・色彩検定・漢字能力検定・文章読解・作成能力検定&gt;</p>	1学年の学期区分	—	
	1学期の授業期間 (1年間)	42 週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程フラワービジネス学科フラワーデザインコース) 令和元年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザイン	装飾デザイン実技を効果的に習得するためのデザイン力の基礎を学ぶ。	1	15	0.5	△		○	○			○	
○			ビジネスマナー	社会人としてのマナーや履歴書の書き方、さらに保険や年金の仕組みについて学ぶ。	1	30	1	○	△		○			○	
					2	45	1.5	○	△		○			○	
○			時事教養	新聞や雑誌などの記事をもとに、新しい時代感覚と柔軟なものを見方を身につける。	1	30	1	○	△		○			○	
○			園芸流通	花き産業の生産・流通・市場や卸売・価格決定などについて学ぶ。	1	30	1	○			○	△		○	
○			植物の基礎知識 I	植物の分類や生理生態など基本的な知識を学習する。	1	60	2	○			○			○	
○			花と緑の商品知識	主要な花と緑について、その性質・品種・管理方法など基本的な知識を身につける。	1	90	3	○			○			○	
					2	75	2.5	○			○			○	
○			フラワーデザイン	切り花の仕組みや取り扱い方、基本のデザインから大型装飾作成までの知識と技術を身につける。	1	225	7.5	△	○		○	△	○		
					2	300	10	△	○	△	○	△	△	○	○
○			グリーンコーディネート	観葉植物の知識や管理方法、グリーンの合わせ方や演出方法を学ぶ。	1	30	1	○	△		○			○	
○			ガーデニング	環境に適した草花や資材の選択、植栽デザインについて学ぶ。	1	30	1	○	△		○	△		○	○
○			カラーコーディネート	色彩の基礎知識を習得し、花材の色合わせなどに応用できる力を身につける。	1	30	1	○	△		○			○	○
○			フラワービジネス	接客技術やマナー、販売促進につながる基本的技術を学ぶ。また、見学や体験談をもとに店舗運営のノウハウやポイントを学び、それを実習店舗で実践する。	1	45	1.5	○	△		○	○	○		
					2	75	2.5	○	△	△	○		○	△	○
○			園芸実習	道具の使い方・土づくり・花壇作成などの知識と技術を習得する。(埼玉校にて実習)	1	30	1		○			○	○		
					2	15	0.5		○			○	○		
○			課題研究	卒業制作展示会に向けて作品がスムーズに制作できるように準備する。	2	15	0.5	△			○			○	
○			インターンシップ	フラワーショップや結婚式場・園芸店などで実体験をし、花と緑の業界について理解を深める。	1	120	4				○			○	○
					2	120	4				○			○	○
一般 選択 6講座 (240時間)															
		○	英会話	基本的な日常会話に生花店・園芸店で必要になる特殊な単語(植物名など)も交え、英語でのコミュニケーション力のレベルアップを目標に楽しく授業を展開。	1	30		○	△		○			○	
	○		園芸装飾	観賞用植物の基本的な維持管理の方法及び、植物を用いた装飾に必要な技術や知識を習得する。	1	30		○	△		○			○	
		○	園芸福祉	園芸福祉の基礎概念を知り、園芸家として福祉を理解し植物の効果的な活用方法を実習を通して学ぶ。	2	30		○	△		○			○	
		○	ショップ会計の基礎知識	店舗運営に必要な販売事務や計数管理の基礎を知ること、経営者のみでなくスタッフにも必要である。簿記の基本を理解するとともに年末調整の方法なども学ぶ。	2	60		○			○			○	
		○	ベランダガーデニング	主にベランダガーデニングの知識や技術を習得し、実際に自分たちで計画した図案をもとに学校ベランダの施工と植栽・管理を行う。	2	60		○	△		○			○	○
		○	国内特別研修	植物をテーマにしたテーマパーク「ハウステンボス」で植栽などの研修及び長崎市内観光(グラバー邸、大浦天主堂など)。	2	30		△	○			○	○		
花の文化 選択 8講座 (140時間)															
	○		花の文化 基礎	人は古くから花や緑とどのような関わりをもち植物を利用していかを、様々な視点から考え、学ぶ。また、それらの歴史が現在の花や緑の文化やビジネスに対しどのように影響しているかを理解する。	1	20		○			○			○	
		○	ボタニカルアート I	植物を被写体として描画する絵画法として発展してきたボタニカルアートの歴史と描画方法を学ぶ。	1・2	12		△	○		○			○	
		○	ボタニカルアート II	ボタニカルアート I で用いた植物とは異なる対象を描き、習得した技術をさらに磨く。完成した作品は額装する。	1・2	12		△	○		○			○	

	○	押し花 I	植物の持つ美しさを長く保持するための加工品の一つである押し花を用い、装飾品を制作する。	1	16		△	○		○									
	○	押し花 II	バラなどの特殊な加工技術を必要とする植物の押し方を習得し、その材料を用いて作品を制作する。	2	16		△	○		○									
	○	華道の魅力 (小原流初等科)	花の姿のとらえ方、間の取り方、枝葉の作り方と整理の仕方など、活け始める前の段階から構築の方法と考え方、華道の奥深さを講義と実習を通して学ぶ。	1	32		△	○		○									
	○	ハーブの利用	ハーブ農園に見学に行き、実際のハーブを目にしながらかその種類や特性、効能を学んだり、自らで摘み取ったハーブを料理に使ったり石鹸を作ったりし、様々なハーブの利用方法を体験する。	2	16		△	○			○								
	○	盆栽・山野草の楽しみ方	日本独自の文化である盆栽の歴史や、最近人気が高まりつつある山野草を使った寄せ植えや小品盆栽等の植物や器の選び方、合わせ方を学び、実際に作品を制作する。	2	16		○	△		○	△								
特別講義 11講座 (50時間)																			
	○	植物写真の撮影技術	植物を観察し理解する際、写真は大いに役立つ。その植物写真の撮影テクニックを実践的に学ぶ。	1	12			○	△		○								
	○	植物染色	植物素材を利用した染色を行う。見た目は同じような枝でも植物によって様々な発色がある。各自で染色、模様づけして絹のスクーフを完成させる。	1・2	8			△	○		○								
	○	松竹梅	めでたい植物とされる松と竹、梅を用いたお正月用の寄せ植えを作成する。	1・2	4			△	○		○								
	○	楽しいクリスマスツリー制作	色々なオーナメントを用い、卓上に置いて楽しめるクリスマスツリーを制作する。	1	4				○		○								
	○	ドライフラワーのミニアレンジ	手作りのドライフラワーやビーズ・羽を使い、ドーム型ケースの中にオリジナルの小さなアレンジメントを作る。	1	4					○		○							
	○	生花祭壇の制作現場	近年、生花を扱う仕事の一つとして需要が伸びている葬儀の仕事。そのメインである生花祭壇の制作現場を見学してその過程を学び、葬儀の仕事について理解を深める。	1・2	4				○			○							
	○	テーブルマナー	結婚式場へ行き、プロの先生の指導のもとにテーブルマナーを学ぶ。テーブルマナーを知っておくことは装飾する際にとっても重要であり、社会人として必要なマナーの一つである。	1・2	6			△	○			○							
	○	苔玉づくり	まんまるでかわいらしい苔玉の作り方や管理方法、適した植物などを学ぶ。	1	4			△	○		○								
	○	リボンで作るハワイアンストラップ	好きな色のリボンを組み合わせて、ハワイアンレイのようなミニストラップを作る。	1	4					○		○							
	○	多肉植物の楽しみ方	飾る場所に見合ったサボテンや多肉植物の選び方や管理方法を学び、寄せ植えを作成する。	2	4			△	○		○								
	○	メイクアップレッスン	就職活動に際し面接は第一印象が大事である。好感をもたれるメイクアップのノウハウをプロの美容部員から教わる。	2	4			△	○		○								
資格取得特別講座 6講座 (232時間)																			
	○	フラワー装飾 技能士3級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。花束、アレンジメント、コサージュの制作技術を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	1	32			△	○		○								
	○	フラワー装飾 技能士2級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。花束、アレンジメント、ブーケの制作技術を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	2	40			△	○		○								
	○	園芸装飾 技能士3級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。観賞用植物による室内装飾とその維持管理の技能を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	2	32			△	○		○								
	○	日本フラワーデザイナー協会資格 3級・2級・1級	「芸術・文化の普及」という観点からフラワーデザイナーを学ぶ人々に、その学習過程における目標を段階的に設けているフラワーデザイナーの資格の取得を目指す。	1・2	32					○		○							
	○	リテールマーケティング 3級	消費者のニーズに応えた高度な商品知識、管理能力や接客技術などをレベルに応じて検定する資格。合格を目指した指導を行う。	1	60			○	△		○								
	○	カラーコーディネーター 3級	人間の生活に大きく作用し、影響する色彩を操り、管理する能力が身に付く資格。合格を目指した指導を行う。	1	36			○	△		○								○
合計				45		科目		2072単位時間( 単位)											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<p>卒業要件 必修科目1380時間+選択科目330時間=1710時間以上履修すること</p> <p>選択科目の履修方法 一般選択科目、花の文化選択、特別講義、資格取得特別講座より、2年間で300時間以上選択する。</p> <p>※花の文化の選択科目を履修するには、「花の文化 基礎」を必ず受講し、その他の講座の時間数と合計で15時間以上を満たすように受講すること。(2年次での重複受講可)</p> <p>※特別講義は時間数の総計が15時間以上を満たすように受講すること。(2年次での重複受講不可)</p> <p>※資格取得特別講座は、上記資格を取得した場合、1資格1単位として認定する。入学前に上記資格を持っているものも、同様に認定する。資格取得試験に不合格の場合、授業を2/3以上出席した講座に関しては、その時数を合計して、30時間になれば、1単位として認める。</p> <p>※上記以外の資格で、次にあげる資格を取得した場合、1資格1単位として認定する。 &lt;グリーンアドバイザー・グリーンマスター・小原流本科・POP広告クリエイター・ハンギングバスケットマスター・カットフラワーアドバイザー・ビジネス能力検定&gt;</p>	1学年の学期区分	—	
	1学期の授業期間 (1年間)	42 週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程フラワービジネス学科 <b>ブライダルフラワーコース</b> ) 令和元年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザイン	装飾デザイン実技を効果的に習得するためのデザイン力の基礎を学ぶ。	1	15	0.5	△	○		○			○	
○			ビジネスマナー	社会人としてのマナーや履歴書の書き方、さらに保険や年金の仕組みについて学ぶ。	1	30	1	○	△		○			○	
					2	45	1.5	○	△		○			○	
○			時事教養	新聞や雑誌などの記事をもとに、新しい時代感覚と柔軟なものの方を見方を身につける。	1	30	1	○	△		○			○	
○			園芸流通	花き産業の生産・流通・市場や卸売・価格決定などについて学ぶ。	1	30	1	○			○	△		○	
○			植物の基礎知識Ⅰ	植物の分類や生理生態など基本的な知識を学習す	1	60	2	○			○			○	
○			花と緑の商品知識	主要な花と緑について、その性質・品種・管理方法など基本的な知識を身につける。	1	90	3	○			○			○	
					2	45	1.5	○			○			○	
○			フラワーデザイン	切り花の仕組みや取り扱い方、基本のデザインから大型装飾作成までの知識と技術を身につける。	1	225	7.5	△	○		○	△	○		
					2	135	4.5	△	○	△	○	△	△	○	○
○			グリーンコーディネート	観葉植物の知識や管理方法、グリーンの合わせ方や演出方法を学ぶ。	1	30	1	○	△		○			○	
○			ガーデニング	環境に適した草花や資材の選択、植栽デザインについて学ぶ。	1	30	1	○	△		○	△		○	○
○			カラーコーディネート	色彩の基礎知識を習得し、花材の色合わせなどに応用できる力を身につける。	1	30	1	○	△		○			○	○
○			フラワービジネス	接客技術やマナー、販売促進につながる基本的技術を学ぶ。また、見学や体験談をもとに店舗運営のノウハウやポイントを学び、それを実習店舗で実践する。	1	45	1.5	○	△		○	○	○		
					2	60	2	○	△	△	○			○	△
○			園芸実習	道具の使い方・土づくり・花壇作成などの知識と技術を習得する。(埼玉校にて実習)	1	30	1		○			○	○		
					2	15	0.5		○			○	○		
○			課題研究	卒業制作展示会に向けて作品がスムーズに制作できるように準備する。	2	15	0.5	△		○	○			○	
○			ブライダルフラワー	ブライダルの様々な場面で使われる花の扱い方や装飾方法について学ぶ。	2	120	4		○		○			△	○
○			ブライダルの基礎知識	ブライダルに関わるマナーなどは内外の周辺知識や技術を身につける。	2	90	3	○	△		○			○	△
○			インターンシップ	フラワーショップや結婚式場・園芸店などで実体験をし、花と緑の業界について理解を深める。	1	120	4			○		○		○	○
					2	120	4			○		○		○	○
一般 選択 6講座 (240時間)															
		○	英会話	基本的な日常会話に生花店・園芸店で必要になる特殊な単語(植物名など)も交え、英語でのコミュニケーション力のレベルアップを目標に楽しく授業を展開。	1	30		○	△		○			○	
○			園芸装飾	観賞用植物の基本的な維持管理の方法及び、植物を用いた装飾に必要な技術や知識を習得する。	1	30		○	△		○			○	
		○	園芸福祉	園芸福祉の基礎概念を知り、園芸課として福祉を理解し植物の効果的な活用方法を実習を通して学ぶ。	2	30		○	△		○			○	
		○	ショップ会計の基礎知識	店舗運営に必要な販売事務や計数管理の基礎を知ること、経営者のみでなくスタッフにも必要である。簿記の基本を理解するとともに年末調整の方法なども学ぶ。	2	60		○			○			○	
		○	ベランダガーデニング	主にベランダガーデニングの知識や技術を習得し、実際に自分たちで計画した図案をもとに学校ベランダの施工と植栽・管理を行う。	2	60		○	△		○			○	○
		○	国内特別研修	植物をテーマにしたテーマパーク「ハウステンボス」で植栽などの研修及び長崎市内観光(グラバー邸、大浦天主堂など)。	2	30		△	○		○			○	
花の文化 選択 8講座 (140時間)															
		○	花の文化 基礎	人は古くから花や緑とどのような関わりをもち植物を利用して来たかを、様々な視点から考え、学ぶ。また、それらの歴史が現在の花や緑の文化やビジネスに対しどのように影響しているかを理解する。	1	20		○			○			○	
		○	ボタニカルアートⅠ	植物を被写体として描画する絵画法として発展してきたボタニカルアートの歴史と描画方法を学ぶ。	1・2	12		△	○		○			○	

		○	ボタニカルアートⅡ	ボタニカルアートⅠで用いた植物とは異なる対象を描き、習得した技術をさらに磨く。完成した作品は額装する。	1・2	12		△	○	○	○	○	○
		○	押し花Ⅰ	植物の持つ美しさを長く保持するための加工品の一つである押し花を用い、装飾品を制作する。	1	16		△	○	○	○	○	○
		○	押し花Ⅱ	バラなどの特殊な加工技術が必要とする植物の押し方を習得し、その材料を用いて作品を制作する。	2	16		△	○	○	○	○	○
		○	華道の魅力 (小原流初等科)	花の姿のとらえ方、間の取り方、枝葉の作り方と整理の仕方など、活け始める前の段階から構築の方法と考え方、華道の奥深さを講義と実習を通して学ぶ。	1	32		△	○	○	○	○	○
		○	ハーブの利用	ハーブ農園に見学に行き、実際のハーブを目にしながらかその種類や特性、効能を学んだり、自らで摘み取ったハーブを料理に使ったり石鹸を作ったりし、様々なハーブの利用方法を体験する。	2	16		△	○	○	○	○	○
		○	盆栽・山野草の楽しみ方	日本独自の文化である盆栽の歴史や、最近人気が高まりつつある山野草を使った寄せ植えや小品盆栽等の植物や器の選び方、合わせ方を学び、実際に作品を制作する。	2	16		○	△	○	△	○	○
特別講義 12講座 (54時間)													
		○	植物写真の 撮影技術	植物を観察し理解する際、写真は大きに役立つ。その植物写真の撮影テクニックを実践的に学ぶ。	1	12		○	△	○	○	○	○
		○	植物染色	植物素材を利用した染色を行う。見た目は同じような枝でも植物によって様々な発色がある。各自で染色、模様づけして絹のスカーフを完成させる。	1・2	8		△	○	○	○	○	○
		○	松竹梅	めでたい植物とされる松と竹、梅を用いたお正月用の寄せ植えを作成する。	1・2	4		△	○	○	○	○	○
		○	楽しいクリスマスツリー制作	色々なオーナメントを用い、卓上に置いて楽しめるクリスマスツリーを制作する。	1	4		○	○	○	○	○	○
		○	ドライフラワーの ミニアレンジ	手作りのドライフラワーやビーズ・羽を使い、ドーム型ケースの中にオリジナルの小さなアレンジメントを作る。	1	4		○	○	○	○	○	○
		○	生花祭壇の 制作現場	近年、生花を扱う仕事の一つとして需要が伸びている葬儀の仕事。そのメインである生花祭壇の制作現場を見学してその過程を学び、葬儀の仕事について理解を深める。	1・2	4		○	○	○	○	○	○
		○	テーブルマナー	結婚式場へ行き、プロの先生の指導のもとにテーブルマナーを学ぶ。テーブルマナーを知っておくことは装飾する際にとっても重要であり、社会人として必要なマナーの一つである。	1・2	6		△	○	○	○	○	○
		○	苔玉づくり	まんまるでかわいらしい苔玉の作り方や管理方法、適した植物などを学ぶ。	1	4		△	○	○	○	○	○
		○	リボンで作るハワイアンストラップ	好きな色のリボンを組み合わせて、ハワイアンレイのようなミニストラップを作る。	1	4		○	○	○	○	○	○
		○	多肉植物の 楽しみ方	飾る場所に見合ったサボテンや多肉植物の選び方や管理方法を学び、寄せ植えを作成する。	2	4		△	○	○	○	○	○
		○	江戸の園芸	幕末に来日した外国人にも称賛された江戸園芸文化を、庶民に愛された浮世絵を通して知る。	2	4		○	○	○	○	○	○
		○	メイクアップ レッスン	就職活動に際し面接は第一印象が大事である。好感をもたれるメイクアップのノウハウをプロの美容部員から教わる。	2	4		△	○	○	○	○	○
資格取得特別講座 6講座 (232時間)													
		○	フラワー装飾 技能士3級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。花束、アレンジメント、コサージュの制作技術を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	1	32		△	○	○	○	○	○
		○	フラワー装飾 技能士2級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。花束、アレンジメント、ブーケの制作技術を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	2	40		△	○	○	○	○	○
		○	園芸装飾 技能士3級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。観賞用植物による室内装飾とその維持管理の技能を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	2	32		△	○	○	○	○	○
		○	日本フラワーデザイナー協会資格 3級・2級・1級	「芸術・文化の普及」という観点からフラワーデザインを学ぶ人々に、その学習過程における目標を段階的に設けているフラワーデザイナーの資格の取得を目指す。	1・2	32		○	○	○	○	○	○
		○	リテール マーケティング 3級	消費者のニーズに応えた高度な商品知識、管理能力や接客技術などをレベルに応じて検定する資格。合格を目指した指導を行う。	1	60		○	△	○	○	○	○

	○	カラー コーディネーター 3級	人間の生活に大きく作用し、影響する色彩を操り、 管理する能力が身に付く資格。合格を目指した指導 を行う。	1	36		○	△		○		○	○
合計			48 科目		2076単位時間( 単位)								
卒業要件			卒業要件及び履修方法				授業期間等						
必修科目1410時間+選択科目300時間=1710時間以上履修すること			<p>選択科目の履修方法 一般選択科目、花の文化選択、特別講義、資格取得特別講座より、2年間で300時間以上選択する。</p> <p>※花の文化の選択科目を履修するには、「花の文化 基礎」を必ず受講し、その他の講座の時間数と合計で15時間以上を満たすように受講すること。(2年次での重複受講可)</p> <p>※特別講義は時間数の総計が15時間以上を満たすように受講すること。(2年次での重複受講不可)</p> <p>※資格取得特別講座は、上記資格を取得した場合、1資格1単位として認定する。入学前に上記資格を持っているものも、同様に認定する。資格取得試験に不合格の場合、授業を2/3以上出席した講座に関しては、その時数を合計して、30時間になれば、1単位として認める。</p> <p>※上記以外の資格で、次にあげる資格を取得した場合、1資格1単位として認定する。 &lt;グリーンアドバイザー・グリーンマスター・小原流本科・POP広告クリエイター・ハンギングバスケットマスター・カットフラワーアドバイザー・ビジネス能力検定&gt;</p>				1学年の学期区分				—		
											1学期の授業期間 (1年間)		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。



## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程フラワービジネス学科グリーンデザインコース) 令和元年度 2年生															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デザイン	装飾デザイン実技を効果的に習得するためのデザインカルの基礎を学ぶ。	1	15	0.5	△	○		○			○	
○			ビジネスマナー	社会人としてのマナーや履歴書の書き方、さらに保険や年金の仕組みについて学ぶ。	1	30	1	○	△		○			○	
					2	45	1.5	○	△		○			○	
○			時事教養	新聞や雑誌などの記事をもとに、新しい時代感覚と柔軟なものを見方を身につける。	1	30	1	○	△		○			○	
○			園芸流通	花き産業の生産・流通・市場や卸売・価格決定などについて学ぶ。	1	30	1	○			○	△		○	
○			植物の基礎知識Ⅰ	植物の分類や生理生態など基本的な知識を学習する。	1	60	2	○			○			○	
○			植物の基礎知識Ⅱ	病害虫・薬品・土・肥料についてⅠよりも詳細に学ぶ。	2	15	0.5	○			○			○	
○			花と緑の商品知識	主要な花と緑について、その性質・品種・管理方法など基本的な知識を身につける。	1	90	3	○			○			○	
					2	75	2.5	○			○			○	
○			フラワーデザイン	切り花の仕組みや取り扱い方、基本のデザインから大型装飾作成までの知識と技術を身につける。	1	105	3.5	△	○		○	△	○		
					2	60	2	△	○		○	△	△	○	○
○			グリーンコーディネート	観葉植物の知識や管理方法、グリーンの合わせ方や演出方法を学ぶ。	1	30	1	○	△		○			○	
○			ガーデニング	環境に適した草花や資材の選択、植栽デザインについて学ぶ。	1	30	1	○	△		○	△		○	○
○			ガーデンデザイン	ガーデニングに必要な図面の描き方など実践的な技術を身につける。	2	60	2	○	△		○			○	
○			カラーコーディネート	色彩の基礎知識を習得し、花材の色合わせなどに応用できる力を身につける。	1	30	1	○	△		○			○	○
○			フラワービジネス	接客技術やマナー、販売促進につながる基本的技術を学ぶ。また、見学や体験談をもとに店舗運営のノウハウやポイントを学び、それを実習店舗で実践する。	1	45	1.5	○	△		○	○	○		
					2	60	2	○	△	△	○		○	△	○
○			園芸実習	道具の使い方・土づくり・花壇作成などの知識と技術を習得する。(埼玉校にて演習)	1	30	1		○			○	○		
					2	15	0.5		○			○	○		
○			課題研究	卒業制作展示会に向けて作品がスムーズに制作できるように準備する。	2	15	0.5	△		○	○		○		
○			グリーンデザイン	コンテナガーデンや花壇の植栽企画から管理方法などについて学ぶ	1	120	4	△	○		○	△		○	○
					2	135	4.5	△	○	△	△	○		○	
○			グリーンビジネス	園芸店やガーデンセンターの販売促進や園芸教室の企画の立て方などを学ぶ。	2	45	1.5	○			○	△	○		
○			インターンシップ	フラワーショップや結婚式場・園芸店などで実体験をし、花と緑の業界について理解を深める。	1	120	4			○		○		○	○
					2	120	4			○		○		○	○
一般 選択 6講座 (240時間)															
		○	英会話	基本的な日常会話に生花店・園芸店で必要になる特殊な単語(植物名など)も交え、英語でのコミュニケーション力のレベルアップを目標に楽しく授業を展開。	1	30		○	△		○			○	
	○		園芸装飾	観賞用植物の基本的な維持管理の方法及び、植物を用いた装飾に必要な技術や知識を習得する。	1	30		○	△		○	△		○	
		○	園芸福祉	園芸福祉の基礎概念を知り、園芸家として福祉を理解し植物の効果的な活用方法を実習を通して学ぶ。	2	30		○	△		○			○	
		○	ショップ会計の基礎知識	店舗運営に必要な販売事務や計数管理の基礎を知ること、経営者のみでなくスタッフにも必要である。簿記の基本を理解するとともに年末調整の方法なども学ぶ。	2	60		○			○			○	
		○	ベランダガーデニング	主にベランダガーデニングの知識や技術を習得し、実際に自分たちで計画した図案をもとに学校ベランダの施工と植栽・管理を行う。	2	60		○	△		○			○	○
		○	国内特別研修	植物をテーマにしたテーマパーク「ハウステンボス」で植栽などの研修及び長崎市内観光(グラバー邸、大浦天主堂など)。	2	30		△	△			○	○		

花の文化 選択 8講座 (140時間)										
○	花の文化 基礎	人は古くから花や緑とどのような関わりをもち植物を利用していかを、様々な視点から考え、学ぶ。また、それらの歴史が現在の花や緑の文化やビジネスに対しどのように影響しているかを理解する。	1	20	○					○
	○ ボタニカルアートⅠ	植物を被写体として描画する絵画法として発展してきたボタニカルアートの歴史と描画方法を学ぶ。	1・2	12	△	○				○
	○ ボタニカルアートⅡ	ボタニカルアートⅠで用いた植物とは異なる対象を描き、習得した技術をさらに磨く。完成した作品は額装する。	1・2	12	△	○				○
	○ 押し花Ⅰ	植物の持つ美しさを長く保持するための加工品の一つである押し花を用い、装飾品を制作する。	1	16	△	○				○
	○ 押し花Ⅱ	バラなどの特殊な加工技術を必要とする植物の押し方を習得し、その材料を用いて作品を制作する。	2	16	△	○				○
	○ 華道の魅力 (小原流初等科)	花の姿のとらえ方、間の取り方、枝葉の作り方と整理の仕方など、活け始める前の段階から構築の方法と考え方、華道の奥深さを講義と実習を通して学ぶ。	1	32	△	○				○
	○ ハーブの利用	ハーブ農園に見学に行き、実際のハーブを目にしながらその種類や特性、効能を学んだり、自らで摘み取ったハーブを料理に使ったり石鹸を作ったりし、様々なハーブの利用方法を体験する。	2	16	△	○				○
○	盆栽・山野草の楽しみ方	日本独自の文化である盆栽の歴史や、最近人気が高まりつつある山野草を使った寄せ植えや小品盆栽等の植物や器の選び方、合わせ方を学び、実際に作品を制作する。	2	16	○	△			○	△
特別講義 11講座 (50時間)										
	○ 植物写真の撮影技術	植物を観察し理解する際、写真は大いに役立つ。その植物写真の撮影テクニックを実践的に学ぶ。	1	12	○	△			○	○
	○ 植物染色	植物素材を利用した染色を行う。見た目は同じような枝でも植物によって様々な発色がある。各自で染色、模様づけして絹のスクarfを完成させる。	1・2	8	△	○				○
○	松竹梅	めでたい植物とされる松と竹、梅を用いたお正月用の寄せ植えを作成する。	1・2	4	△	○				○
	○ 楽しいクリスマスツリー制作	色々なオーナメントを用い、卓上に置いて楽しめるクリスマスツリーを制作する。	1	4		○			○	
	○ ドライフラワーのミニアレンジ	手作りのドライフラワーやビーズ・羽を使い、ドーム型ケースの中にオリジナルの小さなアレンジメントを作る。	1	4		○				○
	○ 生花祭壇の制作現場	近年、生花を扱う仕事の一つとして需要が伸びている葬儀の仕事。そのメインである生花祭壇の制作現場を見学してその過程を学び、葬儀の仕事について理解を深める。	1・2	4		○				○
	○ テーブルマナー	結婚式場へ行き、プロの先生の指導のもとにテーブルマナーを学ぶ。テーブルマナーを知っておくことは装飾する際にとっても重要であり、社会人として必要なマナーの一つである。	1・2	6	△	○				○
○	苔玉づくり	まんまるでかわいらしい苔玉の作り方や管理方法、適した植物などを学ぶ。	1	4	△	○				○
	○ リボンで作るハワイアンストラップ	好きな色のリボンを組み合わせて、ハワイアンレイのようなミニストラップを作る。	1	4		○				○
○	多肉植物の楽しみ方	飾る場所に見合ったサボテンや多肉植物の選び方や管理方法を学び、寄せ植えを作成する。	2	4	△	○				○
	○ メイクアップレッスン	就職活動に際し面接は第一印象が大事である。好感をもたれるメイクアップのノウハウをプロの美容部員から教わる。	2	4	△	○				○
資格取得特別講座 6講座 (232時間)										
	○ フラワー装飾 技能士3級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。花束、アレンジメント、コサージュの制作技術を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	1	32	△	○				○
	○ フラワー装飾 技能士2級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。花束、アレンジメント、ブーケの制作技術を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	2	40	△	○				○
	○ 園芸装飾 技能士3級	職業能力開発促進法に基づいて行われる「技能検定」。観賞用植物による室内装飾とその維持管理の技能を審査認定するもの。合格を目指した技術指導を行う。	2	32	△	○				○

	○	日本フラワーデザイナー協会資格 3級・2級・1級	「芸術・文化の普及」という観点からフラワーデザインを学ぶ人々に、その学習過程における目標を段階的に設けているフラワーデザイナーの資格の取得を目指す。	1 ・ 2	32			○		○			○	
	○	リテールマーケティング 3級	消費者のニーズに応えた高度な商品知識、管理能力や接客技術などをレベルに応じて検定する資格。合格を目指した指導を行う。	1	60		○	△		○			○	
	○	カラーコーディネーター 3級	人間の生活に大きく作用し、影響する色彩を操り、管理する能力が身に付く資格。合格を目指した指導を行う。	1	36		○	△		○			○	○
合計					49	科目	2072単位時間( 単位)							
		卒業要件及び履修方法				授業期間等								
卒業要件		必修科目1410時間+選択科目300時間=1710時間以上履修すること				1学年の学期区分				—				
選択科目の履修方法		一般選択科目、花の文化選択、特別講義、資格取得特別講座より、2年間で330時間以上選択する。												
		※花の文化の選択科目を履修するには、「花の文化 基礎」を必ず受講し、その他の講座の時間数と合計で15時間以上を満たすように受講すること。(2年次での重複受講可)				1学期の授業期間 (1年間)				42 週				
		※特別講義は時間数の総計が15時間以上を満たすように受講すること。(2年次での重複受講不可)												
		※資格取得特別講座は、上記資格を取得した場合、1資格1単位として認定する。入学前に上記資格を持っているものも、同様に認定する。資格取得試験に不合格の場合、授業を2/3以上出席した講座に関しては、その時数を合計して、30時間になれば、1単位として認める。												
		※上記以外の資格で、次にあげる資格を取得した場合、1資格1単位として認定する。 <グリーンアドバイザー・グリーンマスター・小原流本科・POP広告クリエイター・ハンギングバスケットマスター・カットフラワーアドバイザー・ビジネス能力検定>												

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

● 教育課程編成委員会

氏名	所属	任期	構成
小林 徹	東京都生花商協同連合組合 会長	2018.4.1～2020.3.31	①
武部 陽子	株式会社花弘 営業企画室 ヒューマンリソース担当課長	2018.4.1～2020.3.31	③
向江 正智	株式会社日比谷花壇 人材開発部チーフ	2018.4.1～2020.3.31	③
宿谷 勝	株式会社ユー花園 総務・人財開発部 部長	2018.4.1～2020.3.31	③
伊東 政信	東京テクノ・ホルティ園芸専門学校 校長		—
水本 寿美江	同 教務部長		—
小池 智子	同 フラワーデザインコース長		—

● 進級・卒業の要件等（成績評価基準、卒業・修了の認定基準等）

- ① 1コマ（2時限）=90分とし、30時限の履修に対して1単位を与える。
- ② 卒業に必要な単位数は次のとおりである。（令和元年度入学生より適用）  
 ブライダルフラワーコース2年制：63.5単位 そのうち53.5単位は必修科目  
 フラワーデザインコース2年制：63.5単位 そのうち53.5単位は必修科目  
 各科目の修得単位数を合計して別途定める卒業に必要な修得単位数を満たしたものに対し、卒業の判定を行う。卒業は学校長がこれを認定する。
- ③ 各科目の総授業時数に対し、3分の2以上の出席時数に満たないものは原則として当該科目の単位は認定しない。ただし、やむを得ぬ正当な理由による欠席で、3分の2以上の出席時数に満たないものに対しては、補講を実施することにより、出席時数不足を補うことができる。  
 なお、1科目でも出席時数が2分の1に満たない科目がある場合は、原則として補講は認めず、留年とする。
- ④ 試験は、各科目の到達度評価を図るものとして実施し、出席状況や学習態度等を加味して総合評価により各科目に対する最終的な評価を決定する。試験の形態は、筆記試験・実技試験を主たるものとし、必要に応じてレポート・論文などによりおこなう。

授業内到達度評価・総合評価・評定

判定	合格			不合格
単位	認定			不認定
評価	100～80点	79～60点	59～40点	39点以下
認定	優	良	可	不可
GP	3	2	1	0
評価基準	達成目標を理想的なレベルで達成している	達成目標を標準的なレベルで達成している	達成目標を最低限達成している	達成目標を達成できていない

※GP（Grade Point）

<Grade Point 制度>

GPAとは個々の学生が受講した全科目の習熟度の平均を以下の計算結果により表すものである。

$$GPA = \frac{[\text{履修した科目の GP} \times \text{その科目の単位数}] \text{の和}}{\text{履修した全科目の総単位数}}$$

この GPA の数値を用い、学生の成績分布状況、順位の指標とする

- ⑤ 総合評価の結果、目標とする到達度に達していないと判断されたものに対しては、所定の手続きを経て再度、評価し直すことができる。また、再評価においても到達度に達していない者に対しては、所定の手続きを経て補習などを実施する。
- ⑥ 定められた修業年限内に卒業に必要な単位を修得できなかった者には、所定の手続きを経て留年の措置を講ずることができる。

● 学習の成果として取得を目指す資格と合格等の実績

資格名	級	平成 30 年度		平成 29 年度	
		受検者数	合格者数	受検者数	合格者数
フラワー装飾技能士	2 級	31	24	33	27
	3 級	27	27	31	30
園芸装飾技能士	3 級	8	7	5	4
NFD フラワーデザイナー	2 級	0	0	3	3
	3 級	6	6	4	4
リテールマーケティング	3 級	16	14	24	12
カラーコーディネーター	3 級	36	25	37	27

- ・ 技能講習などにより取得を目指すもしくは取得できる資格

グリーンアドバイザー グリーンマスター 小原流本科 ビジネス能力検定 POP 広告クリエイター 他

● 卒業生数、卒業後の進路（進学者数・主な進学先、就職者数・主な就職先）

コース	平成 30 年度				平成 29 年度			
	卒業者	就職者	未定者	他業種 進学等	卒業者	就職者	未定者	他業種 進学等
フラワーデザインコース	20	19	1	0	17	17	0	0
ブライダルフラワーコース	17	16	1	0	8	7	1	0
グリーンデザインコース	3	3	0	0	4	4	0	0

<平成 30 年度卒業生の主な就職先>

株式会社日比谷花壇、株式会社ユー花園、株式会社花弘、株式会社はこねフローリスト、株式会社リベルテ/レ・ミルフォイユ・ドゥ・リベルテ、ニコライバーグマンフラワーズ、株式会社パーク・コーポレーション/青山フラワーマーケット、第一園芸株式会社、株式会社ゴトウ花店、株式会社小田急ランドフローラ/小田急フローリスト、株式会社オザキフラワーパーク、他

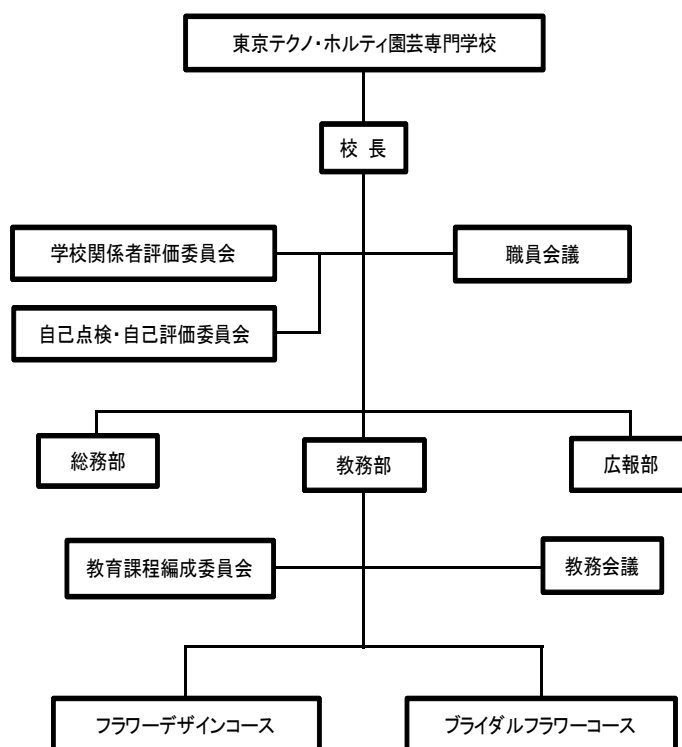
<平成 29 年度卒業生の主な就職先>

株式会社花門フラワーゲート、第一園芸株式会社、株式会社花弘、株式会社ミリアルリゾートホテルズ、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ、株式会社リンクフローリスト/プレジュール、株式会社ユー花園、株式会社京橋花き、他

### 3】教職員

#### ● 教職員数と組織

区分	専任	非常勤講師	計
校長	1		1
教員	5		5
助手	1		1
講師		42	42
事務職員	2		2
その他職員		1	1



#### ● 教職員の専門性

区分	主な担当科目	専門性 有資格・業界との関係など
専任	グリーンビジネス(労務管理・計数管理)	広報・総務部長
専任	フラワービジネス グリーンビジネス 課題研究 (選択)英会話 (資格)フラワー装飾技能士	教務部長 元生花店勤務 1級フラワー装飾技能士 College of San Mateo floristry Course 修了
専任	フラワーデザイン ブライダルフラワー ブライダルの基礎知識 他	フラワーデザインコース長 元生花店勤務 NFD 本部講師 小原流家元 3級 1級フラワー装飾技能士 フLOWER装飾科職業訓練指導員
専任	グリーンデザイン フラワーデザイン 他	教務係(助手) 元園芸店勤務 グリーンアドバイザー 園芸装飾技能士 3級 フLOWER装飾技能士 3級
専任	店舗実習	実習店舗責任者 元(株)日比谷花壇勤務 1級フラワー装飾技能士 NFD 講師
非常勤講師 または委託	店舗実習 フラワーデザイン フラワービジネス(販売技術)	元生花店勤務 1級フラワー装飾技能士
〃	店舗実習	元園芸店勤務 1級フラワー装飾技能士
〃	フラワーデザイン(装飾) ブライダルフラワー	フラワーデザイナー(フリーランス) 元第一園芸(株)勤務
〃	フラワーデザイン(装飾) フラワービジネス(ショップ経営)	はなのみせ花井生花代表 フLOWER装飾科職業訓練指導員 (公社)日本フラワーデザイナー協会本部講師
〃	フラワーデザイン(商品制作・空間装飾の仕方)	フラワーデザイナー (株)ベル・フルール代表取締役社長 (公社)日本フラワーデザイナー協会本部講師
〃	フラワーデザイン (ヨーロッパデザインテクニック)	(株)アローラジャパン代表 ヨーロピアンフラワーデザイナー オランダマスターフローリスト

〃	フラワービジネス(販売技術) グリーンデザイン フラワーデザイン(ヨーロッパデザイン)	フラワーデザイナー(フリーランス) 元本校実習店舗勤務 国内外(ドイツ)のフラワーショップにて長年勤務
〃	フラワービジネス(POPの描き方)	POP 広告クリエイター R・プラン代表 (一社)日本 POP サミット協会副会長
〃	フラワービジネス(ショップ経営) 園芸流通	(株)京橋花き 専務取締役
〃	フラワービジネス(ショップ経営)	フラワーデザイナー (有)メゾンフルーリー専務取締役マネージャー
〃	フラワービジネス(ショップ経営)	小宮商事(株)(園芸資材・生花用資材・店舗用品大卸)勤務
〃	フラワービジネス(ショップ経営)	フラワーコーディネーター (株)ミルハピネス シュー・ドウ・リュバン代表
〃	フラワービジネス(ショップ経営)	片倉工業(株) マルベリーガーデン勤務
〃	デザイン フラワーデザイン(スケッチの仕方)	油絵作家
〃	ブライダルフラワー (資格)NFD (資格)フラワー装飾技能士	フラワーデザイナー (公社)日本フラワーデザイナー協会本部講師
〃	グリーンデザイン 花と緑の商品知識(花苗・鉢物全般)	園芸家 グリーンアドバイザー ハンギングバスケットマスター 元第一園芸(株)勤務
〃	グリーンデザイン ガーデンデザイン	園芸家 グリーンアドバイザー ハンギングバスケットマスター 元住友化学園芸(株)勤務
〃	グリーンデザイン グリーンコーディネート (選択)多肉植物の楽しみ方 (選択)苔玉作り	園芸家 グリーンアドバイザー(園芸ソムリエ) ハンギングバスケットマスター グリーンアドバイザー東京副会長
〃	グリーンデザイン (選択)ベランダガーデニング	園芸家 グリーンアドバイザー Gardening shop ル・シエル経営
〃	花と緑の商品知識(花苗・鉢物全般)	園芸家 (一財)埼玉県生態系保護協会会員 元(株)ジョイフル本田園芸講座講師 元第一園芸(株)勤務
〃	花と緑の商品知識(野菜)	トキタ種苗(株)勤務
〃	花と緑の商品知識(花き栽培技術)	横山園芸代表
〃	花と緑の商品知識(江戸の園芸)	(公財)太田記念美術館 主席学芸員
〃	花と緑の商品知識(環境保全・盆栽) (選択)盆栽・山野草の楽しみ方 (選択)松竹梅	盆栽研究家 NPO 法人とよあしはら事務局長
〃	花と緑の商品知識(病理害虫・土壌肥料) 植物の基礎知識Ⅱ	元住友化学園芸(株) 研究開発部技術顧問 グリーンアドバイザー(園芸ソムリエ)
〃	植物の基礎知識	元中学・高校・大学非常勤講師(生物学)
〃	園芸流通	元静岡県農業試験場勤務 MOA 自然農法学校講師
〃	ガーデニング	園芸家 (有)ジュリエッタガーデン代表 グリーンアドバイザー資格認定講師
〃	ビジネスマナー	JCDA 認定キャリア・ディベロップメント・アドバイザー (株)話し方研究所インストラクター
〃	ビジネスマナー	大手生命保険会社勤務 ライフカウンセラー1級ファイナンシャル・プランニング技能士
〃	時事教養	文章表現トレーニングコーチ 就職対策講師 中学・高校(通信制・サポート校)非常勤講師

〃	花の文化	コンスタンス・スプライ・フลาวースクール サーティフィケートコース修了
〃	カラーコーディネート フラワーデザイン ブライダルフラワー (資格)カラーコーディネーター	カラリスト (有)カラーディレクション主宰 (一財)日本色彩研究所認定色彩指導者
〃	(選択)ショップ会計の基礎知識 (資格)リテールマーケティング	(一社)日本販売士協会登録講師 販売士育成会代表
〃	(選択)園芸福祉	いばらき園芸療法研究会会長 日本園芸療法学会 専門認定登録園芸療法士
〃	(選択)園芸装飾	(有)風のみどり塾勤務 1級園芸装飾技能士 園芸装飾科職業訓練指導員
〃	(選択)華道の魅力	華道家 小原流研究院講師 元第一園芸(株)勤務
〃	(選択)ハーブの利用	ジャパンハーブスクール講師 NHK 学園専任講師 英国園芸療法協会指導員 ジャパンハーブソサエティー会員
〃	(選択)植物染色	フリーランス(カラリスト)
〃	(選択)押し花	(株)日本ヴォーグ社 フラワークラフトディビジョン 企画開発室室長
〃	(選択)ポタニカルアート	K.ポタニカルアートソサエティー会員 NHK 文化センター講師
〃	(選択)植物写真の撮影技術	映像カメラマン
〃	(資格)園芸装飾技能士	園芸研究家 (一社)日本インドア・グリーン協会理事

● 教職員研修

<基本方針>

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校に所属する教職員は常に研鑽を怠らず、学生（もしくは保護者）の夢や希望をかなえ、同時に学生に対して社会人・業界人として必要な知識や技能もしくはその素養を与え、さらに関連業界に対して有為な人材を輩出するよう努めなければならない。

<平成 30 年度実績>

研修日	研修の内容	実施団体・場所など
2018 年 4 月 2 日～3 日	新入教員研修 (ビジネスマナー、教務実務、学生指導等)	東京テクノ・ホルティ園芸専門学校
2018 年 6 月 2 日	「最新 VMD 情報+五感空間」をテーマとした 空間プロデュース・ディスプレイ装飾の講習会	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
2018 年 8 月 18 日	デザイン画講座 ～デザインの発想と表現方法～	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
2018 年 9 月 3 日	新入教員研修 (教務実務、学生指導、就職指導等)	東京テクノ・ホルティ園芸専門学校
2018 年 9 月(全 3 回)	准教員研修会(教育指導法などの習得)	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会



2018年12月9日	New Generations ～若手デザイナーが作り上げる新しい花の世界～ フラワーデザインのトレンドと新技法の習得	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
2019年1月25日	管理者・教職員研修会 学生を狙った詐欺商法に対してその傾向と対策	千代田区専修学校各種学校協会
2019年1月31日	学生カウンセリング研修会 カウンセリングの実践テクニックを学ぶ	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会
2019年2月22日	事務職員研修会 「相手に伝わる文章の書き方」ワークショップ	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会
2019年 3月7日～8日	コンテスト審査員研究会 作品の評価・審査の基準や方法を学ぶ	公益社団法人日本フラワーデザイナー協会
2019年3月15日	就職指導担当者セミナー 「コミュニケーションが苦手な若者へのキャリア支援」ワークショップ	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会

#### 4】キャリア教育・実践的職業教育

- キャリア教育、就職支援への取り組み状況

個々の学生の希望を重視した指導とサポートを実施している。

1年次入学式後のオリエンテーションでクラス担任と個人面談を行い、その時点の希望等を確認。

その後は、放課後などに個別に面談を重ね、個々の能力や希望に沿ったアドバイスや指導を行う。

過去の求人・就職企業の状況や卒業生・企業から得た情報を正確に伝え、同時にインターンシップを有効に活用することで、本人の希望とのミスマッチを防ぎ、確実な就職へ結び付けられるように指導している。

さらに、ビジネスマナーの授業において応募書類の作成や面接対策をするのみならず、具体的な活動を始める時点で、書類作成・模擬面接・訪問マナーなどを個別に指導している。

- 実習・実技等の取り組み状況

本校では、開校当初より実習や演習に重点をおいて、即戦力たる人材養成を図っている。

このために、企業・団体から協力を得て、インターンシップによる現場の経験や、実践的な講師の派遣を受けることで教育効果を高めている。

##### 【企業との連携によるインターンシップ】

<インターンシップの実施時期>

・1年次 2月（10日間） 5月・12月など繁忙期の有給インターンシップ（5日間）

・2年次 5月（有給インターンシップ3日間） 11月（12日間）

<インターンシップによる利点>

・学校で学んだことが実践できると同時に、学校で学べないもしくは学ばないことを経験できる。

～ 社会人として働く練習の機会、社会人に必要な事柄を知る機会を提供できる

・将来の職場選択に有効

～ どんな職場があるかを知る機会、失敗が少ない就職活動の基礎を提供できる

<主なインターンシップ企業>

(株)日比谷花壇、(株)ユー花園、(株)花弘、第一園芸(株)、(株)ミリアルリゾートホテルズ、(株)ジョイフル本田、(株)ユニバーサル園芸社、(株)ゴトウ花店、ほか

【企業との連携によって授業を実施】

契約を締結して授業への協力を得ている企業（【 】内は主な授業科目名）

企業名	企業概要（説明）
(株)京橋花き 【フラワービジネス】	日本一の入荷量を誇る大田市場内の花の仲卸企業。 生産者と消費者とを繋ぐ花の流通の重要な中継点として多くの生花店・企業より信頼を得ている。
(有)カラーディレクション 【カラーコーディネート、フラワーデザイン他】	フラワーやテーブルコーディネート、就活やメイクに活かす色彩などライフスタイルを軸とした色彩教育の活性化をめざし、パーソナルカラー診断や講座・講演などを行っている企業。
(株)ジュリエッタガーデン 【ガーデニング】	ガーデニング講習会・ワークショップの企画や講師の派遣をはじめ、園芸関連企業の商品企画や商品開発へのアドバイス、販売促進を支援する企業。
ガーデニングショップ ル・シエル 【ベランダガーデニング】	町田市つくし野で、ガーデニング関連の幅広い商品を取り扱っているショップ。レンガ花壇の施工や植栽など庭に関する工事全般も請け負っている。オーナーは、本校卒業生。
(株)ミルハピネス 【フラワービジネス】	中目黒でカフェを併設した花屋を経営。小売だけでなくブライダル装花、ディスプレイ&インテリアなど幅広い分野で活動している。
横山園芸 【花と緑の商品知識】	清瀬市でクリスマスローズやダイヤモンドリリー、原種シクラメン、エディブルフラワーの育種・生産を手掛ける企業。代表は、NHK「趣味の園芸」の講師をはじめ、様々なメディアや全国の園芸店などで講演、講習を行い、花や植物の魅力を伝えるべく精力的に活動中。
(株)アローラ・ジャパン 【フラワーデザイン】	代表は、国内外においてデモンストレーションを行いデザインコンテストの審査員を務めるオランダ人マスターフローリスト。特に、ヨーロッパアンフラワーアレンジメントの技術指導を精力的に行っている。

5】様々な教育活動・教育環境

- 学校行事への取り組み状況

<全校的もしくは学年単位での取り組み>

月 度	行 事	概 要
4 月	入学式	
	オリエンテーション	学習の心得や就職活動などについての調和
5 月	国内研修旅行(新入生 1泊2日)	クラスの親睦を深めるとともに、様々な庭園様式を見学
7 月	レクリエーション	全学年合同でバーベキュー大会を行い、お互いの親睦を深める
2 月	卒業作品展	2年生は2年間の学習成果の発表 1年生は学校内の装飾と手作り商品の販売
3 月	卒業式	

<授業内の見学・視察など>

月 度	見学先・イベント名	概 要	対 象
4 月	日本フラワー&ガーデンショー	新品種や寄せ植えなどガーデニング作品、園芸商品の視察	2 年生 全コース
5 月	新宿御苑 新宿マルイ 伊勢丹新宿店	新宿御苑内の植物の観察と屋上庭園の視察	1 年生 全コース
	大田市場	流通の要である市場の重要性を理解させる	1 年生 全コース
8 月	明治記念館	テーブルマナー講習受講と、ブライダル会場視察と仕事への理解を深める	1・2 年 選択者
	(株)ユー花園	フューネラルフラワーの装飾技法見学と仕事への理解を深める	1・2 年 選択者
9 月	村田永楽園	園芸植物を取り扱う卸業者の業務視察	1 年生 全コース
10 月	スーパービバホーム豊洲店	ホームセンターの園芸売り場視察	2 年生 GD
	サカタのタネ ガーデンセンター横浜	ガーデンセンターの売り場視察	2 年生 GD
	国内特別研修旅行 (2 年生選択 2 泊 3 日)	長崎ハウステンボスで開催される「世界のガーデンコンテスト」やグラバー邸等で庭園植栽見学	2 年生 選択者
	赤坂アークヒルズ	オフィス内インテリアグリーン装飾と敷地内の花壇見学	1 年生 選択者
	日比谷公園ガーデニングショー	ガーデニングコンテストの作品見学	1 年生 GD
	春花園盆栽美術館	盆栽作品を見学し、その歴史と世界観を学ぶ	2 年生 選択者
11 月	晴海トリトンスクエア	敷地内の花壇見学	1 年生 全コース
1 月	横浜植木展示会	園芸資材を取り扱う卸業者の展示会见学	1 年生 全コース
	(株)東京堂	造花・フラワー資材卸・小売業者の店舗内見学	1・2 年 全コース
	関東東海花の展覧会	切花や鉢物の品評会、フラワーデザインコンテストの作品の見学	1 年生 全コース

表の「対象」に記載した記号の説明

FD：フラワーデザインコース

BF：ブライダルフラワーコース

GD：グリーンデザインコース

<学習成果の発表等>

年度	イベント名など	概要	対象
10月	日比谷公園ガーデニングショー	コンテナガーデンコンテストへ作品出展	2年生 GD
	御茶ノ水ホテルジュラク	ホテル内のフラワー装飾(企画・プレゼンテーション・装飾)	2年生 FD・BF
11月	技能五輪全国大会	フラワー装飾部門の競技会	2年生 FD・BF
12月	フラワーショップつぼみ (実習店舗)	クリスマス・お正月向け商品の企画販売	1・2年 全コース
通年	三井住友火災海上保険(株) 本社新館前花壇と屋上菜園	季節ごとの花壇植栽と菜園での野菜栽培	1・2年 GD

6】学生の生活支援

● 学生支援への取り組み状況

各コースの担当教員が座学や実習などを通じて個々の学生の出席状況や学習意欲などの把握に努めている。同時に、教務担当者が非常勤講師とのやり取りなどによって同様の情報を把握している。これらの情報は、少人数制の利点を生かして教職員間で共有し、随時ミーティングを行い対策などの意見交換を行っている。この際、状況によっては担任から保護者へ連絡し、保護者も交えた面談を実施、学習への取り組み姿勢の更生、不登校・退学の防止に結び付けている。また、保護者からの相談については随時応じることとして、保護者に対するケアも行えるように対応している。

7】学生納付金・就学支援

● 学生納付金の取扱い(金額、納入時期等)  
学費(各コース共通)

	1年次			2年次		
	納入方法・期日			納入方法・期日		
	一括納入	分割納入		一括納入	分割納入	
第1回納入		第2回納入	第1回納入		第2回納入	
	合格通知 受領から 2週間以内	合格通知 受領から 2週間以内	入学前の 3月31日 (1年次の 7月15日※)	1年次 (2年次直前)の 3月31日	1年次 (2年次直前)の 3月31日	2年次の7月15 日
入学金	100,000円	100,000円				
授業料	950,000円	550,000円	400,000円	950,000円	550,000円	400,000円
実験・実習料	100,000円		100,000円	100,000円		100,000円
合計	1,150,000円	1,150,000円		1,050,000円	1,050,000円	

\*入学前の3月31日までに入学辞退を申し出た場合は、納入済みの学費のうち、入学金を除いた授業料・実験実習料を返還する。

※分割納入・第2回納入の期日は「分納願」を提出した場合、7月15日に変更する。

諸費用

	コース	納入方法	花材費	教材材料費	合計
1年次	フラワーデザインコース	一括納入	100,000円	110,000円	210,000円
		分割納入第1回	50,000円	55,000円	105,000円
		分割納入第2回	50,000円	55,000円	105,000円
	ブライダルフラワーコース	一括納入	100,000円	110,000円	210,000円
		分割納入第1回	50,000円	55,000円	105,000円
		分割納入第2回	50,000円	55,000円	105,000円
2年次	フラワーデザインコース	一括納入	130,000円	50,000円	180,000円
		分割納入第1回	65,000円	25,000円	90,000円
		分割納入第2回	65,000円	25,000円	90,000円
	ブライダルフラワーコース	一括納入	180,000円	45,500円	225,500円
		分割納入第1回	90,000円	22,750円	112,750円
		分割納入第2回	90,000円	22,750円	112,750円
	グリーンデザインコース	一括納入	50,000円	116,000円	166,000円
		分割納入第1回	25,000円	58,000円	83,000円
		分割納入第2回	25,000円	58,000円	83,000円

\*納入期限 一括納入、分割納入第1回 : 5月31日 分割納入第2回 : 10月31日

\*選択科目や資格取得科目の教材材料費は、別途徴収する

\*資格の検定料などは、個々の受験資格によって異なり、別途実施団体宛に実費を納入しなければならない。

- 活用できる経済的支援措置の内容等（奨学金、授業料減免等）

詳しくは、学生募集要項に記載。（2年進級時に適用する「給費生制度」は学生生活の手引きに記載）

<学園独自の制度>

◇ 特別奨学金

奨学区分	給付額	給付条件
取得資格	A 30,000円	園芸装飾技能士2級、フラワー装飾技能士2級、造園技能士2級、商品装飾展示技能士2級、日本農業技術検定1級、測量士補、リテールマーケティング(販売士)1級、NFD(日本フラワーデザイナー協会)フラワーデザイナー2級、カラーコーディネーター1級、色彩検定1級、屋上緑化コーディネーター、簿記実務検定1級(全商)、ビジネス文書実務検定1級(全商)、FFJ(日本学校農業クラブ連盟)・県(都・府)連会長職
	B 10,000円	園芸装飾技能士3級、フラワー装飾技能士3級、造園技能士3級、商品装飾展示技能士3級、FFJ(日本学校農業クラブ連盟)検定特級、グリーンアドバイザー、NFD(日本フラワーデザイナー協会)フラワーデザイナー3級、リテールマーケティング(販売士)2級、カラーコーディネーター2級、色彩検定2級、日本農業技術検定2級、簿記実務検定2級(全商)、ビジネス文書実務検定2級(全商)、情報処理検定(全商)、ビジネスコミュニケーション検定(全商)

全国大会	入賞	30,000 円	技能五輪全国大会入賞(フラワー装飾部門、造園部門) 技能グランプリ入賞(園芸装飾部門、フラワー装飾部門) FFJ(日本学校農業クラブ連盟)主催の各種競技会において全国大会入賞
	出場	10,000 円	技能五輪全国大会出場(フラワー装飾部門、造園部門) 技能グランプリ出場(園芸装飾部門、フラワー装飾部門) FFJ(日本学校農業クラブ連盟)主催の各種競技会において全国大会出場
AO 事前学習	レポート 評価	50,000 円	6 月エントリー者で、毎月のレポート評価が 80 点以上
		40,000 円	7 月エントリー者で、毎月のレポート評価が 80 点以上
		30,000 円	8 月エントリー者で、毎月のレポート評価が 80 点以上
		20,000 円	9 月エントリー者で、毎月のレポート評価が 80 点以上
	園芸常識 テスト	50,000 円	テスト結果が 91～100 点
		30,000 円	テスト結果が 81～90 点

\*該当するものが複数ある場合は、その合算金額を給付する

(但し、同一資格の上位級を取得している場合の下位級、同一大会で入賞した場合の“出場”は対象外)

◇ 卒業生紹介制度 (入学時に適用)

①兄弟姉妹、保護者が本学の在校生・卒業生の場合：入学金相当額 100,000 円を奨学金として給付する

②本学卒業生の紹介により入学した場合：50,000 円を奨学金として給付する

◇ 給費生制度 (2年進級時に適用)

人物・学業ともに優秀で目的意識の確かなものに対して、経済的な負担を軽減するために奨学金を給付する「給費生制度」を設けている。

ただし、給付希望する場合は別途試験(専門科目、一般常識)を受け、認定されなければならない。

給付金額 A 認定 50 万円、 B 認定 25 万円、 C 認定 10 万円

<公的な奨学金、給付金など>

◇ 日本学生支援機構の奨学金

学業成績が優秀で、かつ経済的な理由から学費の支払いが困難なものに対して、選考の上奨学金が貸与される制度(卒業後に返還が必要)

・第一種奨学金(無利子)      ・第二種奨学金(有利子)      ・入学時特別増額貸与奨学金(有利子)

また、給付型(返還不要)の制度も設けられている

\*いずれも必要な事務作業等は学内で指導する

\*詳しくは、日本学生支援機構のホームページを参照 <https://www.jasso.go.jp/>

その他、上記を含め詳しくは募集要項及び関係する組織・団体のホームページを参照のこと

8】学校の財務

- 資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表は、情報公開ページを参照してください。

9】学校評価

- 自己評価、学校関係者評価を踏まえた改善方策については、情報公開ページを参照してください。

# 10】その他

## ● 学則

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

### 第1章 総 則

(目 的)

第1条 本校は、学校教育法及び私立学校法の規定に基づき、商業実務専門課程を設置し、フラワービジネスに関する専門技術及び理論を習得させ、あわせて一般教養の向上を図ることを目的とする。

(名 称)

第2条 本校は、東京テクノ・ホルティ園芸専門学校という。

(位 置)

第3条 本校の位置を東京都千代田区神田小川町3-26-1に置く。

### 第2章 課程、学科、修業年限、定員及び休業日

(課程・学科・修業年限・定員)

第4条 本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

昼夜別	課 程 名	学 科 名	入学定員	総定員	備 考
昼	商 業 実 務 専 門 課 程	フラワービジネス学科 2年制	40人	80人	
		フラワービジネス学科 1年制	40人	40人	
		計	80人	120人	

(学年、学科の終始期)

第5条 本校の学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2. 専門課程の学期は次のとおりとする。

前 期 4月1日から9月30日まで

後 期 10月1日から3月31日まで

(休業日)

第6条 本校の休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律で規定する日

(3) 夏季休業日 8月1日から8月31日まで

(4) 冬季休業日 12月15日から1月14日まで

(5) 春季休業日 3月26日から4月7日まで

(6) 開校記念日 10月1日

2. 前項の規定にかかわらず、教育上必要があり、やむを得ない事情があるときは、休業日に授業を行うことがある。

3. 非常災害その他急迫の事情があるときは、臨時に授業を行なうことがある。

### 第3章 教育課程、授業時数及び教職員組織

(教育課程・授業時数)

第7条 本校の教育課程及び授業時数は別表1のとおりとする。

(始業及び授業時数)

第8条 本校の始業及び終業の時刻は次のとおりとする。

昼 夜 別	課 程 名	始 業 時 刻	終 業 時 刻
昼	商業実務専門課程	9 : 1 0	1 6 : 2 0

(教職員組織)

第9条 本校に次の教職員を置く。

- (1) 校 長 1名
- (2) 教 員 4名
- (3) 講 師 3名 (以上)
- (4) 事務職員 1名
- (5) 学 校 医 1名

2. 校長は校務をつかさどり、所属職員を監督する。

### 第4章 入学、休学、退学、卒業及び賞罰

(入学資格)

第10条 本校の入学資格は次のとおりとする。

- (1) 高等学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 高等学校卒業程度認定試験 (平成17年文部科学省令第1号) により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者。  
または大学入学資格検定規定 (昭和26年文部省発令第13号) により文部大臣の行なう大学入学資格検定に合格した者
- (6) 修業年限が3年の専修学校の高等課程を修了した者
- (7) その他専門学校において、高等学校を卒業した者に準ずる学力があると認められた者

(入学時期)

第11条 本校の入学時期は毎年4月1日とする。

(入学手続・許可)

第12条 本校の入学手続は次のとおりとする。

- (1) 本校に入学しようとする者は、本校の定める入学願書、その他の書類に必要事項を記載して第19条に定める入学検定料を添えて指定期日までに提出しなければならない。

(2) 前号の手続きを終了した者に対して、入学試験を行い入学者を決定する。

(3) 本校に入学を許可された者は、入学許可の日から2週間以内に第19条の入学金を添え手続きをとらなければならない。

(休学、復学)

第13条 生徒が疾病その他やむを得ない事由によって30日以上休学する場合は、その事由を記載した書類及び診断書を提出して校長の許可を受けなければならない。

2. 前項の者が復学しようとする場合は、届け出て復学することができる。

(退学)

第14条 退学しようとする者は、その事由を記載した書類を提出し、校長の許可を受けなければならない。

(卒業・修了の認定、称号の授与)

第15条 校長は教育課程の定めるところにより、各学年ごとに修了すべき学科科目について試験を行い、合格者に対して当該科目の修了を認定する。ただし、実習については、実習の成績によって修了を認定することができる。

第16条 本校所定に課程を修了した者には、卒業証書を授与する。

2. 前文に規定するところにより、商業実務専門課程フラワービジネス学科2年制を修了した者は専門士 (商業実務専門課程) と称することができる。

(褒賞)

第17条 成績優秀にして、他の模範となる者は、これを褒賞することができる。

(懲戒)

第18条 生徒がこの学則、その他本校の定める諸規則を守らず、生徒としての本分にもとる行為があったときは懲戒処分を行なうことがある。

2. 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

3. 退学は、次の各号の一に該当する生徒に対して行なうものとする。

- (1) 品行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなく出席が常でない者
- (4) 学校の秩序を乱し、その他生徒としての本分に反した者

第5章 入学金、授業料、その他

(納付金)

第19条 本校の入学検定料、入学金、授業料等は別表2のとおりとする。

(納入及び納入の特例)

第20条 生徒がその在籍中は、出席の有無にかかわらず授業料を所定の期日までに納入しなければならない。但し、事情により分納を認めることがある。

(納入金の還付)

第21条 即納の入学検定料、入学金及び授業料並びに実験実習料等は原則として返還しない。ただし、入学前に入学辞退を申し出た者には、入学検定料並びに入学金以外の納付金を返還する。

(寄宿舎)

第22条 寄宿舎に関する事項は、校長が別に細目で定める。

(健康診断)

第23条 健康診断は、毎年1回別に定めるところにより実施する。

(附帯教育)

第24条 本校の附帯教育は次のとおりとする。

昼夜別	課 程	修業日数	定 員	時 間
昼	園芸店・フローリスト開業セミナー	1年	80名	18:20~21:10

2. 附帯教育の入学金、授業料等は次のとおりとする。

入 学 金 50,000円

授 業 料 450,000円

実験実習費 50,000円

3. 伊東学園が運営する学校の在学及び卒業生が附帯教育を受ける場合の授業料等は次のとおりとする。

授 業 料 450,000円

※入学金及び実験実習費は免除とする。

附 則

1. この学則は、平成10年4月1日より実施する。

附 則

1. この学則は、平成12年3月1日より実施する。

附 則

1. この学則は、平成31年4月1日より実施する。

【別表1】

教育課程及び授業時数

商業実務専門課程フラワービジネス学科 昼間部・2年制

科目区分	必修 選択 の別	授 業 科 目	ブライダルフラワーコース(BF)				フラワーデザインコース(FD)						
			第1学年		第2学年		第1学年		第2学年		授業時数 合計		
			週間	年間	週間	年間	週間	年間	週間	年間			
一 般	必	ビジネスマナー	1	30	1.5	45	75	1	30	1.5	45	75	
		時事教養	1	30	-	-	30	1	30	-	-	30	
		ビジネス能力検定3級	1	30	-	-	30	1	30	-	-	30	
専 門	必	フラワーデザイン	7.5	225	6	180	405	7.5	225	8	240	465	
		花と緑の商品知識	3	90	1.5	45	135	3	90	1.5	45	135	
		フラワービジネス	2	60	1	30	90	3	90	3	90	180	
		デザイン	0.5	15	1	30	45	0.5	15	1	30	45	
		植物の基礎知識	1.5	45	-	-	45	1.5	45	-	-	45	
		グリーンデザイン	2	60	-	-	60	2	60	-	-	60	
		園芸流通	1	30	-	-	30	1	30	-	-	30	
		カラーコーディネート	1	30	-	-	30	1	30	-	-	30	
		花の文化	1	30	-	-	30	1	30	-	-	30	
		グリーンコーディネート	1	30	-	-	30	1	30	-	-	30	
		ガーデニング	1	30	-	-	30	1	30	-	-	30	
		卒業制作	-	-	1	30	30	-	-	1	30	30	
		ブライダルの基礎知識	2.5	75	-	-	75	-	-	-	-	-	
		ブライダルフラワー	-	-	6.5	195	195	-	-	-	-	-	
		園芸実習	-	-	-	-	-	-	-	4	120	120	
インターンシップ	4	120	4	120	240	4	120	4	120	240			
目 次	選	英会話	1	30	-	-	30	1	30	-	-	30	
		園芸装飾	1	30	-	-	30	1	30	-	-	30	
		園芸福祉	-	-	1	30	30	-	-	1	30	30	
		ショップ会計の基礎知識	-	-	2	60	60	-	-	2	60	60	
		ガーデンデザイン	-	-	1.5	45	45	-	-	1.5	45	45	
		国内特別研修	-	-	1	30	30	-	-	2	30	30	
		特別講義	0.5	15	0.5	15	30	0.5	15	0.5	15	30	
		資格取得	4	120	4	120	240	4	120	4	120	240	
		必修科目授業時間数			930		675	1,605		885		720	1,605
		選択科目授業時間数			195		300	495		195		300	495
卒業に必要な総授業時数			1,005		900	1,905		1,005		900	1,905		

(注) 選択科目は、2年間で300時間以上履修するものとする。

【別表1】

教育課程及び授業時数

商業実務専門課程フラワービジネス学科 昼間部・1年制

科目区分	必修 選択 の別	授 業 科 目	フラワーデザインコース		経 営 コ ー ス			
			第1年次	第1年次	第1年次	第1年次		
一 般	必	ビ ジ ネ ス 実 務	1	30	1	30		
専 門	必	園 芸 事 情	1	30	1	30		
		植 物 の 基 礎 知 識	4	120	4	120		
		花 と 緑 の 商 品 知 識	4	120	4	120		
		フ ラ ウ ー ・ デ ザ イ ン	8	240	4	120		
		グ リ ー ン ・ コ ー デ ィ ネ イ ト	2	60	2	60		
		園 芸 装 飾	1	30	1	30		
		カ ラ ー ・ コ ー デ ィ ネ イ ト	1	30	1	30		
		イ ン テ リ ア ・ コ ー デ ィ ネ イ ト	1	30	1	30		
		販 売 技 術	4	120	4	120		
		シ ョ ッ プ 研 究	2	60	2	60		
		実 務 演 習	4	120	4	120		
		シ ョ ッ プ 経 営	-	-	4	120		
		目 次	選	花 の 文 化	2	60	2	60
				簿 記 会 計	2	60	2	60
				資 格 取 得 特 講	2	60	2	60
特 別 講 義	1			30	1	30		
施 外 特 別 研 修	1			30	1	30		
必 修 科 目 授 業 時 数			990		990			
選 択 科 目 授 業 時 数			240		240			
卒 業 に 必 要 な 総 授 業 時 数			1,050		1,050			

(注) 選択科目の中から2時間以上履修するものとする。

【別表2】

第19条 本校の入学検定料、入学金、授業料等は、次のとおりとする。

・昼 間 部	
入学検定料	20,000円
入 学 金	100,000円
授 業 料	950,000円(年額)
実験実習料	100,000円(年額)

※入学後、必要となる諸経費は実費納入とする。